

財団法人8020推進財団

平成16年度 歯科保健活動助成交付事業

さっぽろ歯っぴーネットワーク会議事業実績報告

社団法人札幌歯科医師会

1. 事業名

さっぽろ歯っぴーネットワーク会議（「札幌歯科保健推進協議会」）

2. 参画団体

北海道医療大学歯学部、北海道大学大学院歯学研究科、札幌市食生活改善推進員協議会、北海道栄養士会札幌石狩支部、札幌市、北海道歯科衛生士会札幌支部、札幌歯科医師会

3. 目的

市民の健康づくりを推進する上で「歯の健康づくり」をすすめていくことは極めて重要なことであると考えます。そのような中、市民の歯科保健医療に対するニーズが多種多様となっている現状において、今、市民は何を求め、何を欲しているのか、歯科界だけの意見集約に止まる事なく、保健医療等に関わる団体、市民（市民団体等）および行政が協働し「歯の健康づくり」を通して市民の健康づくりを支援する。

4. 事業内容

①さっぽろ歯っぴーネットワーク会議の立ち上げ

保健医療関係団体、市民団体、行政等の共働による「歯の健康づくり」について協議会を立ち上げ、意見交換等を行う事で、歯科保健に関する意識の相違点等を理解し、有効的な情報発信、啓発の手法を具体化する事により更なる歯科保健に関する市民の意識向上を図る。

②市民歯科健康講座の開催

【開催趣旨】

我が国はこれまで経験したことのないような高齢化社会を迎えており、そのような中、自分の歯で物を噛み、多くの人と楽しく会話することの重要性が歯科界はもちろん、一般社会においても強く認識されるようになってきた。平成15年4月よりスタートした「健康さっぽろ21」や昨年5月に施行された「健康増進法」においても「歯の健康」が取り入れられるなど、口腔と全身の健康との関わりにおいて、歯科保健医療が果たす役割は今後益々重要なものになってくると認識している。

そこで札幌歯科医師会では、市民における健康の保持・増進を図ることを目的に、お口の病気（歯周病をメインに開催）が私たちの健康にどのような影響を及ぼし、健康な生活を送るためになぜ口腔ケアが大切なのか、口腔と全身の

健康について普及・啓発を図る目的に市民健康講座を開催した。

開催日時：平成 17 年 4 月 16 日（土）14:00

開催場所：札幌歯科医師会館 5 階 大講堂（札幌市中央区南 7 条西 10 丁目）

テーマ：口腔と全身の健康を考える－元気な生活は口の中から－

講演内容：(1)「歯周病が及ぼす全身への影響」

【講師】北海道大学大学院歯学研究科

助教授 菅谷 勉 先生

(2)「口腔ケアで健康な生活をおくろう」－口腔体操の実践－

【講師】北海道歯科衛生士会札幌支部

出席人数：91名

③市民向けホームページ「デンタルカフェ」の開設

ホームページアドレス <http://www.sasshi.org/>

歯科関連情報を多角的な面から情報発信し、歯科保健を基盤とした健康づくりに役立つコンテンツを市民が手軽に、わかりやすく取得できるよう市民向けホームページを開設した。

内容としては、歯や口の病気と治療法などを写真やイラストを使用し市民にわかりやすい形で解説し情報の提供を行う外、正しい歯の磨き方など動画を使用している。また、歯の健康啓発や「発掘！あるある歯科辞典」と称し、歯科の専門用語についてキーワード検索方式などにより、わかりやすく解説を行っている。さらには、札幌市内の歯科医院について、地域や診療科目、夜間・休日診療と訪問歯科の有無などを条件設定し検索できるページも併せて掲載している。

5. 事業評価

市民の健康を取り巻く環境は、少子高齢化や核家族化の進展、生活様式の多様化などに伴い大きな変化を示しており、市民の歯科保健医療に対するニーズは多種多様な様相を呈している現状にある。札幌市においても一昨年 4 月より「健康さっぽろ 21」がスタートし、様々な生活習慣病への取り組みが行われている中、札幌歯科医師会としても「歯の健康づくり」を中心とした市民の健康づくりを実践することが重要であると捉えていた。

しかしながら、歯の健康に関する情報提供、啓発を行う上で歯科保健医療関係団体だけではその情報発信に限界があり、広がりにかける傾向にあることから、これら以外の保健医療等に関わる団体や市民の協力のもと、さっぽろ歯っぴーネットワーク会議を立ち上げた事には大きな意義があったと認識している。

本ネットワーク会議の目的は市民への情報提供、啓発であるが参画団体、組織がそれぞれの活動の中で、歯科保健を基盤とした健康づくりを実践して頂くことで、広範囲にわたり情報の発信、共有が可能となったことは評価できると考える。平成 16 年度内では「歯周病」を一つの大きなテーマとして捉え、成人の歯科保健にスポットを当てた事業推進内容であったが「市民歯科健康講座の開催」「市民向けホームページの開設」は、市民に対し効果的な情報提供ができたものと考えている。

今後もさっぽろ歯っぴーネットワーク会議を中心とした参画団体間での様々な意見・情報交換は、歯科保健に関する意識の相違点等を理解する上で非常に重要なものとなり、それを基に、より有用的な情報発信、啓発の手法などを具現化し、更なる歯科保健に対する市民への意識向上を図るべく、事業推進を図って行きたいと考える。

【別添資料】

- ◆「さっぽろ歯っぴーネットワーク会議」参画団体名簿
- ◆「さっぽろ歯っぴーネットワーク会議」設立趣意書、設立概要
- ◆「さっぽろ歯っぴーネットワーク会議」会則
- ◆「市民歯科健康講座」開催概要等（抄録、案内チラシ）
- ◆市民向けホームページデンタルカフェ掲載内容（抜粋）
- ◆市民向けホームページデンタルカフェ新聞掲載記事

さっぽろ歯っぴーネットワーク会議参画団体名簿

(敬称略・順不同)

団 体 名	役 職	氏 名
北海道医療大学歯学部	教 授	千葉 逸朗
北海道大学病院歯科診療センター地域支援医療部	副部長	小林 一三
北海道大学病院歯科診療センター地域支援医療部	講 師	小林 國彦
北海道大学病院歯科診療センター地域支援医療部	講 師	根岸 淳
札幌市食生活改善推進員協議会	会 長	石井 泰子
社団法人北海道栄養士会札幌石狩支部	支部長	山口 敦子
札幌歯科技工士会	会 長	田中 春樹
札幌市保健福祉局健康衛生部	歯科保健担当部長	請井 繁樹
社団法人北海道歯科衛生士会札幌支部	支部長	箱崎 千春
社団法人北海道歯科衛生士会札幌支部	理 事	小林 元子
社団法人札幌歯科医師会	会 長	鶴岡 一彦
社団法人札幌歯科医師会	副会長	藤井 孝人
社団法人札幌歯科医師会	理 事	葛崎 健三郎
社団法人札幌歯科医師会	理 事	大川 晋一

「さっぽろ 歯っぴーネットワーク」設立趣意書

さっぽろ歯っぴーネットワーク 設立発起人

代表 社団法人札幌歯科医師会
会長 鶴岡 一彦

近年、全身の健康と歯や口の健康との関連が深いことが明らかとされており、むし歯や歯周病を予防することは健康を保つ上で大きな役割を持つことが示されています。

健康を保つことは、いきいきとした豊かな生活を送るために欠くことのできない条件ですが、歯の健康づくりである「8020運動」は、自分の歯を永く保ち高齢になっても健康で自立した生活を送ることを目的としており、QOL（生活の質）向上に必要な推進項目であると考えております。

高齢社会にあって自分の歯で何でも噛め、食べられることを目指す8020運動を推進することは大変意義の深いことではありますが、8020達成にはまだ先の長い道程を歩んでいかなければならないのが現状です。

健康づくりの基本的な考え方であるヘルスプロモーションでは、個人が自らの健康をコントロールし改善していくこと、そしてこのような取り組みを支援する環境づくりが重要であるとされています。

札幌市では「健康さっぽろ21」を平成15年度から実施していますが、これは健康づくりに関係する各団体、組織が市民一人ひとりを支援して健康の実現に取り組んで行くことが基本とされており、市民の健康づくりを推進する上で重点的に取り組むべき領域の一つに「歯の健康」が取り上げられております。

歯の健康づくりを推進するためには、市民の健康づくりに関わる団体、組織などが市民一人ひとりの取り組みを支援していくことが重要であり、これは市民の健康を実現するために大きく寄与するものであると考えております。

今回、札幌歯科医師会では、市民の健康づくりを支援する立場とその考え方に基づき、歯科保健医療関連団体をはじめ、健康づくり関連団体及び行政などに参加頂き、相互の連携・協働によって「歯の健康づくり運動」を推進していく組織（協議会）として「さっぽろ 歯っぴーネットワーク」の設立を提唱するものであります。

つきましては、本協議会設立における趣旨をご理解頂き「さっぽろ 歯っぴーネットワーク」への参加につきまして特段のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「さっぽろ歯っぴーネットワーク会議」の設立概要について

市民の健康を取り巻く環境は、少子高齢化や核家族化の進展、生活様式の多様化などに伴い大きな変化を示しており、市民の歯科保健医療に対するニーズは多種多様の様相を呈している現状にあります。

札幌市においても一昨年4月より「健康さっぽろ21」がスタートし、様々な生活習慣病への取り組みが行われている中、札幌歯科医師会としても市民の健康づくりを推進する上で「歯の健康づくり」は極めて重要なことであると捉えております。

そこで札幌歯科医師会では、今、市民は何を求め、何を欲しているのか、歯科界だけの意見集約に止まることなく、市民の健康づくりを支援するという立場を踏まえ、歯科医師会が主体となった協議会を歯科保健等に関わる団体、市民および行政と共に発足し歯科保健医療（「歯の健康づくり」）の推進を図っていきたいと考えております。

また、本協議会を立ち上げることにより、歯科保健における意識の相違点を理解していくことで、市民に対し、より有効な情報発信、啓発の手段を検討、協議することにより、有用的な事業推進等の展開が図れるものと考えております。

【目 的】

市民一人ひとりの健康づくりへの取り組みを支援することにより8020運動を推進し、市民の健康増進に寄与する。

【活動指針】

- ①市民の健康づくりを支援するために、健康づくり関係団体（市民）、歯科保健に関わる団体、および行政などが相互の連携・協働によって「歯の健康づくり」を推進する。
- ② 活動の基本は市民への情報提供と意識の啓発とし、参加団体がそれぞれの活動の中にこれらを位置づけ、相互の情報交換を図る。

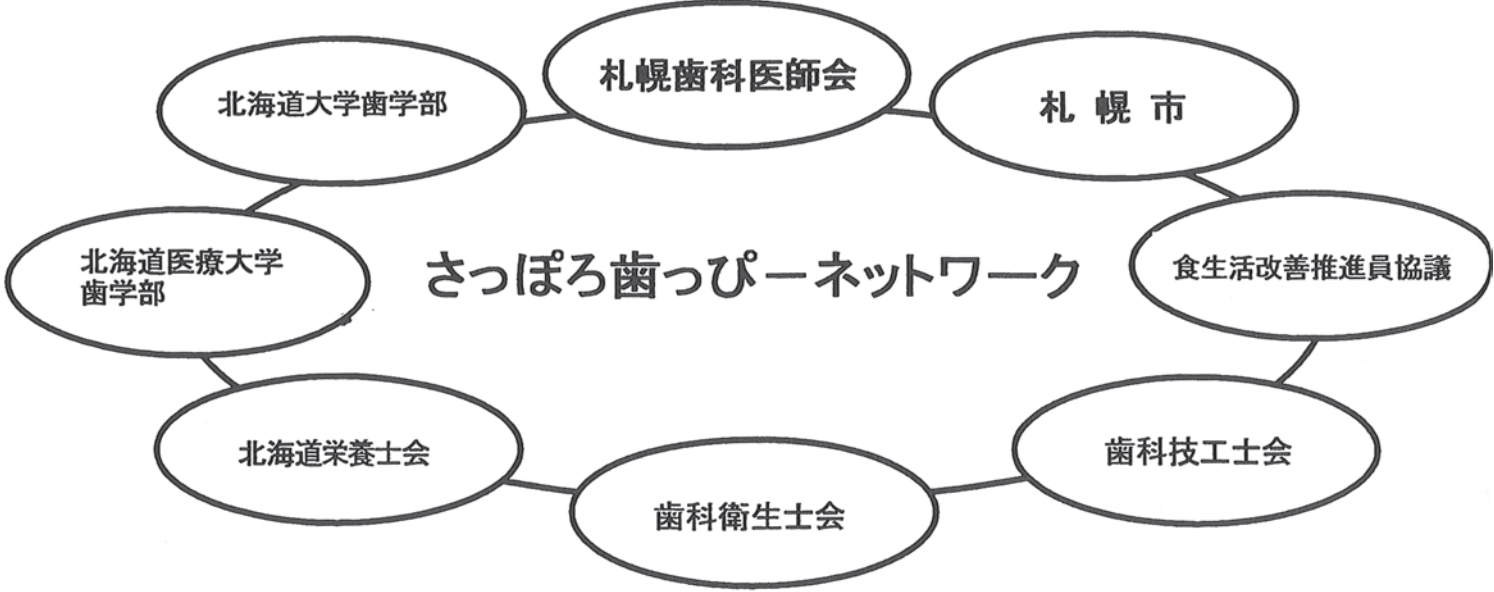
健康さっぽろ21



8020運動の推進



市 民



さっぽろ歯っぴーネットワーク会議会則

平成17年2月25日

策定

(名称)

第1条 本会は、さっぽろ歯っぴーネットワーク会議と称する。

(目的)

第2条 さっぽろ歯っぴーネットワーク会議（以下ネットワーク会議）の活動は、会員相互の日常的な情報交換を前提として、次の事項およびその周辺の事項を目的とする。

(1) 8020運動の推進に関する連携

(2) 健康さっぽろ21など健康日本21市町村計画推進の支援に関する連携

(運営)

第3条 ネットワーク会議に議長を置き、札幌歯科医師会長をもって充てる。

(1) 議長は、会員（第4条）により構成される全体会を必要に応じて開くことができる。

(2) 議長は必要に応じて副議長を2名まで選出することが出来る。副議長は議長がその任に堪えない場合、代理を勤める。

(3) 議長は会員より若干名の幹事を指名する。

(4) ネットワーク会議の運営は、幹事により構成される幹事会がこれにあたる。

(5) ネットワーク会議事務局は札幌歯科医師会事務局内に設置する。

(会員)

第4条 ネットワーク会議は、札幌市及びその隣接地域の歯科保健の推進に関係する組織によって構成される。会員は以下の事項を満たすものとする。

(1) 札幌市及びその隣接地域に活動拠点をもち、自主的に歯科保健および健康づくりの推進に取り組む組織であって、ネットワーク会議が認めたもの。

(サポート会員)

第5条 サポート会員は、ネットワーク会議の目的に賛同する個人、組織であってネットワーク会議が認めたものとする。

(1) ネットワーク会議は、サポート会員に歯科保健の推進に関する情報を提供する。

付則

(1) 本会則は平成17年2月25日より施行する。